

冬休みにぜひ読んでほしい理科の本



今年、ふたご座流星群や「はやぶさ2」のカプセル帰還など、天体に関するニュースが目白押しでしたね。

「なぜ?」、「どうして?」という疑問を持つことは、夏休みも冬休みも関係ありません。むしろ、冬休みは、冬にしか見ることでできないものをじっくり観察できるチャンスです。

お家の中にいる時も外あそびをしている時も、そして本の世界の中でも好奇心は広がります。この冬休み、理科の本に触れて、自由に研究してみてください。

今回は冬休みにおすすめの本を先生方に紹介してもらいました。

E 先生おすすめ

塩の絵本

私たちの生活に身近で欠かせない塩。

この絵本は、塩の作り方や塩を使ったくらしの知恵などを紹介しています。



T 先生おすすめ

はじめての感染症図鑑

気になるあの病気から自分を守る。

キャラクターと一緒にどんな病気なのか予防や治療を学べる本です。



図書委員おすすめ

おりの中の46ぴきの犬

みなさんはブリーダーという職業を知っていますか? 動物の命を預かる大切なお仕事の難しさがよくわかります。



山田養蜂場 寄贈

ワクワク探検シリーズ①知られざる宇宙

私たちのところから見えるけれど謎の多い宇宙についてやさしく書いてある本です。



ジャクサ(JAXA)寄贈

宇宙のがっこう

宇宙での過ごし方などを楽しく学べる本です。

自由研究にも役立つシートやまとめ方が書いてあるので、ぜひ参考にしてください。



司書おすすめ

日本のスゴイ科学者29人が教える発見のコツ

科学者の話がわかりやすくみんながもの知りになれる本です。

失敗をおそれずに行動すれば、かならず何かが残ると思えるようになりますよ。

